

2013年4月24日

プレスリリース

本資料は4月24日にチューリッヒで発表されたプレスリリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ
2013年第1四半期業績を発表**

2013年1月1日のバーゼル3への移行後の事業モデル変更によるプラスのモメンタムが鮮明に：ハイ・リターン、強力な顧客フランチャイズ、コストベースの縮小、リスク加重資産の縮小：

- **基礎的*業績**：コア税引前利益 20 億 3, 200 万スイス・フラン (CHF)、株主に帰属する純利益 14 億 6, 200 万 CHF、株主資本利益率 16%
- **公表業績**：コア税引前利益 18 億 2, 200 万 CHF、株主に帰属する純利益 13 億 300 万 CHF、株主資本利益率 14%

2013年第1四半期 事業部門別業績：

- **プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門**：安定した収益力を見せ、税引前利益 8 億 8, 100 万 CHF (前年同期は 9 億 5, 100 万 CHF) 強力な新規純資産 120 億 CHF、収益はトランザクション量の回復を反映したものの、事業売却益と純利息収入の減少によって一部相殺
- **インベストメント・バンキング部門**：安定した収益レベル、市場シェアを維持、コストベースの縮小、資本使用の減少を反映して大幅な増益を記録し、税引前利益は 13 億 CHF (前年同期 9 億 700 万 CHF)、バーゼル3配賦資本利益率 23%を記録

資本基盤強化計画の継続実施：

- 2013 年第 1 四半期のルックスルーのスイス国内資本比率は 9.6%、残りの資本強化措置が完了することを前提とした試算ベースで 9.8%。これらの比率には、現金配当金の支払い再開にかかる比例按分による計上分が含まれる
- このまま推移すれば、2013 年半ば中に 2018 年末の要件 10%を上回る見通し

コスト節減対策の更なる進捗状況：

- 25 億 CHF の費用削減を達成（特定費用項目を除く）；2011 年上半期調整済み*年率換算ランレート対比で 2015 年末までに費用ランレート削減目標 44 億 CHF を達成する見通し

クレディ・スイス・グループは、2013年4月24日、2013年第1四半期業績を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「2013年第1四半期の基礎的株主資本利益率は16%となり、当社は、引き続き強力な顧客フランチャイズ・モメンタムを維持し、大幅に縮小したリスクベースとコストベースから高い利益を創出しています。当四半期は、2011年半ばから成功裏に実施してまいりました各種の戦略的措置が、一貫して収益をもたらす効果を発揮していることを示しています」。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の業績に言及して、ドゥーガンは次のように述べました。

「プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、当四半期に税引前利益8億8,100万CHFを計上し、堅調な収益を達成しました。同部門内の3つの事業がそれぞれ、当四半期の新規純資産120億CHFに貢献しました。これは、スイス、アジア太平洋、米州各市場における高い成長によるものですが、ヨーロッパ市場で資産が流出したことによって一部は相殺されています。プライベート・バンキングとウェルス・マネジメントの両部門の統合による組織再編は、順調に進んでおり、当社は、これらの努力によって、お客様により良質で効果的なサービスを提供し、今後の四半期に向けて、当社の生産性、効率性、収益性を更に向上できるものと確信しております」。

インベストメント・バンキング部門について、「インベストメント・バンキング部門は、バーゼル3配賦資本利益率23%を達成し、当四半期の業績は当社の新しい事業モデルの強みとバランスのとれたパフォーマンスを具体的に示しました。同部門のコストベースとリスク加重資産は前年同期に対して減少・縮小し、安定した収益と税引前利益13億CHFを達成しました。この2年間、当社は、事業ポートフォリオを大幅に見直し、利益率の高い事業に資本と経営資源の大部分を集中的に配分してまいりました」。

クレディ・スイス・グループの戦略的発展について、「当社は、新しい規制の枠組みの設定において先駆者としての役割を担うスイスに本社を置く企業として、自社の事業モデルと業務を早い段階で適応させる必要に迫られています。この2年間、当社は、インベストメント・バンキング部門の事業モデルの整合化、コストおよびリスク加重資産の大幅な削減、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の構造の適合化、自社の資本ポジションの大幅な強化を図ってまいりました。今なお大幅な再編成の最中にある業界にあって、当社は、新体制への移行を効果的に完了し、安定的であり、高利益を創出し、かつ新たな規制環境にも対応できる事業モデルの確立に向けて、大幅な進化を遂げました。当社は、現在バーゼル3基準に基づき業務を実施しており、資本調達プロフィールは、安定調達比率100%以上と業界最高水準となっています。また資本基盤を大幅に強化し、試算ベースのルックスルーのスイス国内資本比率9.8%を達成しています。

このまま推移すれば、2013年半ばに、当社の試算ベースのルックスルーのスイス国内資本比率目標10%を超えることが予想され、2013年の利益に関し現金配当の計上を開始しています」（ドゥーガン）。

2013 年第 1 四半期業績の概要

決算ハイライト			
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)	2013 年 第 1 四半期	2012 年 第 4 四半期	2012 年 第 1 四半期
公表税引前利益(コア業績)	1,822	369	40
基礎的*税引前利益(コア業績)	2,032	1,173	1,484
公表純利益 株主帰属ベース	1,303	263	44
基礎的*純利益 株主帰属ベース	1,462	816	1,055
公表希薄化 1 株当たり利益(CHF)	0.76	0.09	0.03
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	14.2%	2.9%	0.5%
基礎的株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	15.9%	8.7%	12.4%
バーゼル 3 CET 1 比率(期末)	14.6%	14.2%	-
スイス国内レバレッジ・レシオ(バーゼル 3)	3.8%	-	-
1 株当たり簿価合計(CHF)	28.83	27.44	27.43
1 株当たり有形簿価(CHF)	22.09	20.77	20.41

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の 2013 年第 1 四半期の純収益は 33 億 300 万 CHF、税引前利益は 8 億 8,100 万 CHF：

- 純収益は、前年同期比 5%減。これは主として、2012 年第 1 四半期におけるアバディーン・アセット・マネジメント（以下、「アバディーン」）に対する投資の一部売却と純利息収入の減少による減収が、経常手数料／フィーの若干の増収によって一部相殺されたことによるものです。トランザクション・ベースと運用業績ベースの収益は、前年同期に比べ安定的に推移しました。
 - ウェルス・マネジメント顧客事業：2013 年第 1 四半期の税引前利益は 5 億 1,100 万 CHF、純収益は 22 億 5,000 万 CHF で前年同期に比べ安定的に推移。これは、経常的手数料／フィーおよびその他の収益の増加が、現行の低金利環境の不利益を相殺したことによります。
 - コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：2013 年第 1 四半期の税引前利益は 2 億 500 万 CHF、純収益は 5 億 2,000 万 CHF で、前年同期を若干下回りました。これは、現行の低金利環境によって純利息収入が減少し、トレーディング&セールスの減収によるトランザクション・ベースと運用業績ベースの収益減少を反映したものです。
 - アセット・マネジメント事業：2013 年第 1 四半期の税引前利益は 1 億 2,000 万 CHF、純収益は 5 億 3,300 万 CHF で、前年同期を大幅に下回りました。前年同期の収益は、アバディーンに対する投資の一部売却益を反映しています。
- 2013 年第 1 四半期のクレディ・スイス・グループ全体の新規純資産は 120 億 CHF で、これには、グループ内事業間のコラボレーションによる新規純資産 44 億 CHF が含まれています。
 - ウェルス・マネジメント顧客事業：堅固な新規純資産 55 億 CHF の貢献。これは、新興国市場および超富裕顧客層（UHNWI）からの資産流入が、西欧市場からの資産が引き続き流出したことにより一部相殺されたことによります。
 - コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：新規純資産 45 億 CHF の貢献。
 - アセット・マネジメント事業：新規純資産 64 億 CHF の貢献。これは主として、インデックス戦略、マルチアセットクラス・ソリューション、クレジット金融商品への資産流入が、当行が撤退を決めた事業からの 21 億 CHF の資産流出によって一部相殺されたことによります。
- 2013 年第 1 四半期の営業費用合計は、23 億 9,400 万 CHF で、前年同期を 4%下回りましたが、これは、前年同期に計上した PAF2 付与費用 1 億 2,000 万 CHF の一時計上によって 2012 年従

業員の報酬と給付が減少し、主として従業員数の減少によって給与関連費用が減少したことによるものです。

インベストメント・バンキング部門の2013年第1四半期の純収益は39億4,500万CHF、税引前利益は13億CHF：

- ・ 純収益は、前年同期に対して安定的に推移。これは、債券セールス&トレーディング、引受およびアドバイザーの各業務の増収が、株式セールス&トレーディング業務の業績低迷によって相殺されたことによります。
- ・ 債券セールス&トレーディング業務：2013年第1四半期の収益は19億8,700万CHFで、前年同期比3%増となりました。これは、グローバル・クレジット商品、証券化商品、新興国市場を含む、市場をリードするフランチャイズ各社の弾力的な運用業績に基づくものであります。さらに、当社が撤退を進めている事業について、前年同期は2億6,100万CHFの損失を計上したのに対し、2013年第1四半期は400万CHFの利益を計上しました。
- ・ 株式セールス&トレーディング業務：2013年第1四半期の収益は、ファンド連動商品および転換株式におけるパフォーマンスが前年同期に比べ低下したことから、前年同期を5%下回りましたが、これは前年同期に比べ不利なトレーディング状況を反映しています。キャッシュ・エクイティおよびプライム・サービスのフランチャイズは、好業績をおさめました。
- ・ 引受およびアドバイザー業務：2013年第1四半期の収益は7億6,300万CHFで、前年同期を3%上回りましたが、これは債券引受、株式引受の両業務の増収が、M&A手数料の大幅な減収によって一部相殺されたことによるものです。
- ・ 営業費用合計は26億5,100万CHFで、従業員の報酬および給付の減少によって前年同期を13%下回りましたが、これは主として、前年同期にPAF2報酬付与関連費用4億1,100万CHFが含まれていたことを原因として繰延報酬関連費用が減少したことによります。この減少分は、主として訴訟引当金といったその他の営業費用合計が増加したことによって一部相殺されました。
- ・ インベストメント・バンキング部門における2013年第1四半期のバーゼル3配賦資本利益率は前年同期の13%から上昇し、23%となりました。
- ・ 2013年第1四半期末のバーゼル3リスク加重資産は、1,820億米ドルで、インベストメント・バンキング部門は、2013年末目標額1,750億米ドルの到達に向けて順調に推移しています。

コスト節減の現状

2013年第1四半期末現在、クレディ・スイス・グループは、2011年上半期の実績から推定した調整済み*年率換算ランレートに対して、25億CHF（特定の大型項目を除く）のコスト削減を達成しましたが、2015年末までに達成すべき合計ランレート節減目標額44億CHFの到達に向けて引き続き順調に推移しています。当四半期中にコーポレート・センターが認識した事業再編成コストは9,200万CHFでした。

統合事業モデルのメリット

2013年第1四半期中に、クレディ・スイス・グループは、統合事業モデルから10億6,400万CHFのコラボレーション収益を創出しました。この金額は、当グループの2013年第1四半期の純収益の15%に相当します。

資本および資金調達

2013年第1四半期末現在、クレディ・スイス・グループのルックスルーのスイス国内資本比率は2012年7月に発表した残りの措置が完了することを前提として、試算ベースで9.8%でした。2013年第1四半期の公表上のルックスルーのスイス国内資本比率は9.6%でした。クレディ・スイス・グループは、2013年半ば中にスイス国内の2018年末要件の10%を超えるものと確信しており、よって、これらの比率の算定には、2013年について予定している現金配当金の支払いの再開にかかる比例按分による計上分が含まれています。資本基盤強化計画の一環としての追加の戦略的事業売却および残りの資本措置も、近いうちの完了に向けて順調に進んでおります。

2013年1月1日付で、クレディ・スイス・グループは、それまで事業運営の基準であったバーゼル2.5の枠組みをバーゼル3の枠組みに切り替えました。同枠組みは、スイス国内の「大きすぎて潰せない (Too Big to Fail)」法令とそれに基づく規制に沿って、スイス国内で施行されたものです。2013年第1四半期末現在、クレディ・スイス・グループのバーゼル3普通株式等Tier 1 (内部留保と普通株式で構成される：CET 1) 比率は14.6%、2012年第4四半期に対して0.4パーセンテージ・ポイント上昇しましたが、これはCET 1資本の増加とリスク加重資産の増加を反映しています。

2012年10月、クレディ・スイス・グループは、外国為替変動を考慮しないベースで、貸借対照表上の総資産を、2012年第3四半期から更に1,300億CHF、すなわち13%削減し、2013年末までに9,000億CHF未満に削減するという目標に向けた措置を発表しました。2013年第1四半期末現在、貸借対照表上の総資産残額は9,470億CHFで、2012年第4四半期末現在から230億CHF増えましたが、これは主に外国為替換算の影響によるものです。2013年第1四半期末現在のクレディ・スイス・グループのレバレッジ・レシオは3.8%でした。

クレディ・スイス・グループは、引き続き保守的な流動性管理を行っており、2013年第1四半期末現在、現行FINMA枠に基づく推定長期安定調達比率 (NSFR) は100%を超えており、スイス国内規制に基づく短期流動性も要件を超えています。

部門別業績詳細

部門別業績		2013年	2012年	2012年	2012年	2012年
単位：百万 CHF		第1四半期	第4四半期	第1四半期	2012年第4四半期からの増減率 (%)	2012年第1四半期からの増減率 (%)
プライベート バンキング& ウェルス マネジメント	純収益	3,303	3,334	3,485	(1)	(5)
	貸倒引当金繰入額	28	68	39	(59)	(28)
	営業費用合計	2,394	2,355	2,495	2	(4)
	税引前利益	881	911	951	(3)	(7)
インベストメント バンキング	純収益	3,945	2,664	3,959	48	0
	貸倒引当金繰入(戻入)額	(6)	2	(5)	-	20
	営業費用合計	2,651	2,364	3,057	12	(13)
	税引前利益	1,300	298	907	336	43

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

グローバル・ベースのウェルス・マネジメント顧客事業、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業、グローバル・ベースのアセット・マネジメント事業で構成されるプライベート・バンキング&アセット・マネジメント部門は、2013年第1四半期において税引前利益8億8,100万CHF、純収益33億300万CHFを計上しました。純収益は、その他の収益と純利息収入が減少したことにより、前年同期を5%下回りましたが、その減少の一部は経常手数料／フィー収入の若干の増加によって一部相殺されました。その他の収益は、アバディーン持株の一部売却益1億7,800万CHFが含まれていた前年同期を下回りました。純収益は、2012年第4四半期と比べて安定的に推移しました。これはその他の収益と経常手数料／フィー収入が増加したことによるものですが、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益および純利息収入の減少によって一部相殺されています。

営業費用合計は23億9,400万CHFで、前年同期比4%減となりましたが、これは従業員の報酬および給付が減少したことによります。この減少は、主として前年同期に付与されたPAF2の1億2,000万CHFに由来する繰延報酬関連費用と従業員数の減少によります。2012年第4四半期に比べ、営業費用合計は若干増加しましたが、これは従業員の報酬と給付の増加が、一般管理費の減少によって一部相殺されたことによります。

ウェルス・マネジメント顧客事業の2013年第1四半期の税引前利益は5億1,100万CHF、純収益は22億5,000万CHFで、前年同期に対して安定的に推移しました。これは、純利息収入の減少が、経常手数料／フィーの若干の増収（投資運用口座およびサービス関連フィーの増収を含む）およびバンキング・サービスの若干の増収と投資商品運用手数料の減収によって一部相殺されたことによります。2012年第4四半期に比べ、純収益は若干増加しましたが、これは経常手数料／フィーの増収（バンキング・サービス・フィーの季節性の増収を含む）、裁量的運用委託フィーの増収、その他の収益ならびにトランザクション・ベースまたは運用業績ベースの収益の増加が、純利息収入の減少によって一部相殺されたことによるものです。2013年第1四半期のグロス・マージンは、110ベース・ポイント（bp）で、前年同期比8bp減となりましたが、これは長引く不利な金利環境、保守的な資産ミックスの採用、UHNWI顧客層と新興国市場の成長の影響によるものです。2012年第4四半期に比べ、グロス・マージンは安定的に推移しました。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客および世界中の銀行からのニーズに対応した包括的サービスを提供しています。2013年第1四半期の税引前利益は2億5,000万CHF、純収益は5億2,000万CHFで前年同期

比3%減、2012年第4四半期比5%減となりました。2013年第1四半期の営業費用合計は、前年同期比4%減、2012年第4四半期比6%減でした。2013年第1四半期の貸倒引当金は、正味融資ポートフォリオ622億CHFに対して900万CHFを計上しましたが、これは信用ポートフォリオを適切に分散していることおよび確実なリスク管理を反映しています。

アセット・マネジメント事業の2013年第1四半期の税引前利益は1億2,000万CHF、純収益は5億3,300万CHFで前年同期に対して24%減となりましたが、これは2012年第1四半期のアバデインの持株の一部売却益計上分1億7,800万CHFが、2013年第1四半期の運用手数料および販売手数料の増収によって一部相殺されたことによります。純収益は、2012年第4四半期を8%下回りました。これは運用手数料ならびに成功報酬および販売手数料の減収によるフィー・ベースの収益の減少によるものですが、これらの減収を2013年第1四半期の投資関連利益の増加が上回りました。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2013年第1四半期の純収益は39億4,500万CHF、税引前利益は13億CHFを計上しました。当四半期は好業績をおさめましたが、これは安定した収益、広範囲の分野における市場シェアの維持、前年同期に対してコストベースが縮小し、資本使用が減少したことによります。純収益は前年同期に対して安定的に推移しましたが、これは債券セールス&トレーディングならびに引受およびアドバイザリーの各業務の増収が、株式セールス&トレーディング業務の減収によって一部相殺されたことによるものです。2012年第4四半期に比べ、純収益は大幅に増加しましたが、これは債券セールス&トレーディング、株式セールス&トレーディングの第1四半期における業績が、時季的な影響により好調であったことによります。

債券セールス&トレーディング業務：収益は19億8,700万CHFで前年同期を上回りましたが、これはグローバル・クレジット商品、証券化商品、新興国市場を含む、債券分野における市場リーダーである当社のフランチャイズ各社の弾力的な運用業績を反映しています。さらに、当社が撤退を進めている事業について400万CHFの利益が生じました（前年同期は2億6,100万CHFの損失を計上）。収益は、債券業務のほぼ全般で業績が改善したことにより、2012年第4四半期に比べて大幅に増加しましたが、これは時季的な影響により第1四半期の業績が好調であることによります。

株式セールス&トレーディング業務：収益は12億9,700万CHFとなり、不利なトレーディング状況を反映し、前年同期を5%下回りました。これはファンド関連商品および転換株式の運用業績が前年同期に対して低迷したことによるものです。キャッシュ・エクイティおよびプライム・サービスのフランチャイズ各社は、2013年第1四半期は好業績をおさめました。収益は、2012年第4四半期に比べ大幅に増加しましたが、これは取引量と顧客活動が持ち直し、株式業務ほぼ全般において増収につながったことによります。

引受およびアドバイザリー業務：収益は7億6,300万CHFで、前年同期を3%上回りました。これは、社債と株式の引受業務の増収が、M&Aの手数料の大幅な減収によって一部相殺されたことによります。収益は、2012年第4四半期に比べ、同四半期の顧客活動が大変活発であったことを受けて、アドバイザリー、社債および株式の全引受業務を通じて22%減少しました。

従業員の報酬および給付は、前年同期を5億2,800万CHF、すなわち26%下回りましたが、これは主に繰延報酬関連費用の減少によるものです。2012年第1四半期の費用には、PAF2報酬付と関連費用4億1,100万CHFが含まれています。また2013年第1四半期の従業員の報酬および給付は、2012年第4四半期を3億1,300万CHF、すなわち27%上回りましたが、これは主に業績が上向いたことに伴う裁量的業績連動報酬関連費用が増加したことによるものです。その他の営業費用合計は、前年同期を12%上回りましたが、これは主に訴訟関連引当金の積み増しによるものです。その他の営業費用合計は、2012年第4四半期に比べて2%減少しました。これは主に弁護士費用を含む専門家費用の減少によるものですが、当該減少は訴訟関連引当金の増加によって大部分相殺されています。

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2013年第1四半期に税引前損失3億5,900万CHFを計上しました。これには自社社債の公正価値評価損3,700万CHF、一定のストラクチャード・ノート負債証券の借方評価調整分4,100万CHF、単独デリバティブの公正価値評価損200万CHFが含まれており、これら3つの項目に関する損失の合計額8,000万CHFが当四半期に計上されました。2012年第1四半期は18億1,800万CHFの税引前損失、2012年第4四半期は8億4,000万CHFの税引前損失を計上しています。上記各項目に係る損失、事業売却損8,000万CHF、事業再編成コスト9,200万CHFを除いた場合の2013年第1四半期のコーポレート・センターの税引前損失は、1億700万CHFでした。

(注*) 基礎的および調整済みの業績は、GAAPによらない財務評価基準によるものです。基礎的業績を米国GAAP評価基準とほぼ直接比較できるように調整したものについては、本リリース(英文原本)の添付資料A(Annex A)「Reconciliation to underlying results - Core Results (基礎的業績の調整: コア業績)」をご覧ください。調整済み年率換算ベースの費用ラ

ンレートの算定の詳細については、2013年第1四半期業績説明会用スライドをご覧ください。